

韓国・朝鮮の近現代史と日本

李 熒 娘 編著

2025年3月31日発行

中央大学出版部 発行

本体価格 5,700円(税別)

まえがき		
第Ⅰ部 前近代から開港期・植民地期		
第1章	明治中期の下関港と朝鮮貿易	木村 健二
第2章	昔話の文化的接触—『温突夜話』を通して—	尹 惠 貞
第3章	朝鮮の茶文化—伝統の継承と日本植民地統治期を経た変容—	新井 佑一
第4章	朝鮮王朝後期の紀年法について—清の年号と“崇禎”年号—	文 純 實
第5章	済州島「停漁」問題と日本人潜水器漁業—(1879年～1893年)—	神谷 丹路
第Ⅱ部 植民地下の朝鮮		
第6章	1920年代後半以降における朝鮮林政の検討—譲与事業に注目して—	韓 梨 恵
第7章	シンガーミシンの朝鮮市場席卷	李 熒 娘
第8章	増田収作を通じてみる農村振興運動の一側面	早川 和彦
第Ⅲ部 在日・在満朝鮮人		
第9章	在日朝鮮人預金者について	樋口 雄一
第10章	近現代間島地域における農業構造と食糧の流通状況	朴 敬 玉
第11章	敗戦直後の対朝鮮人刑事政策の実態 —朝鮮人高犯罪率言説と「不法行為」化・取締集中化—	金 守 香
第12章	関東大震災と朝鮮人虐殺, そして弁護士・布施辰治	李 圭 洙
第13章	水俣病になった朝鮮人—洲上朝市と朝鮮人集落—	辻 信行
第Ⅳ部 現代の韓国と日本		
第14章	解放後の韓国の宗教政策—米軍政の開始と大韓民国の成立—	上別府 正信
第15章	2000年代韓国映画に表れた女子商業高校全盛期の「終焉」	藤田 忠義
第16章	韓国の行政デジタル化の変遷と日本への示唆点	高木 佳祐